

# 宮城・史跡仙台城跡

せんだいじょう

- 1 所在地 宮城県仙台市青葉区川内
- 2 調査期間 二〇〇五年(平17)二月～二〇〇六年一月
- 3 発掘機関 仙台市教育委員会
- 4 調査担当者 渡部 紀
- 5 遺跡の種類 城館跡
- 6 遺跡の年代 近世
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要



(仙台)

仙台城は、一七世紀初めに築城された城郭である。築城当初は山の上の本丸と麓の蔵屋敷から構成された山城であったが、一七世紀前半に二の丸が造られ、以後明治維新まで二の丸が藩政の中心となり、本丸は儀礼の場とされていた。

調査地は、三の丸巽門跡から本丸への登城路の中間にあたる、清水門跡の南西に位置する。二〇〇三年に発生した地震により中門跡

及び清水門跡石垣が被災し、二〇〇三年度から二〇〇五年度にかけて復旧事業が行なわれた。

清水門跡石垣では、復旧事業に引き続き石垣背後からの湧水の切り直し工事を行ない、それに伴う発掘調査の過程で木簡が発見された。清水門跡石垣の南西部に位置する沢曲輪石垣の基部より湧水が認められ、湧水部に近接して約八〇cm四方の方形の木枠が発見された。井戸枠の可能性が考えられたが、遺構保存のため内部は掘り下げていない。

木簡は木枠の周辺から一点出土した。

木枠周辺からは、他に材、瓦、ガラスが出土している。陶磁器は共伴しておらず、木枠の所属年代は不明である。

## 8 木簡の釈文・内容

(1) ・「東」〔泉倉カ〕

・「六月吉日」

120×(21)×3 081

左半を欠き、中央部で折れる。表面は、上部端に朱書きで巴文を描く。裏面の上部にもわずかに朱が散っている。

## 9 関係文献

仙台市教育委員会『仙台城跡地震災害石垣復旧事業及び史跡整備事業報告書 中門跡・清水門跡』(仙台市文化財調査報告書一九九、二〇〇六年)

(渡部 紀)



## 木簡研究 第二八号

巻頭言—木簡よみの歴史—

今泉隆雄

二〇〇五年出土の木簡

概要 平城京跡(1) 平城京跡(2) 平城京跡(3) 旧大乗院庭園 藤原宮跡 石神遺跡 山田道跡 飛鳥京跡 下田東遺跡 長岡宮跡 長岡京跡 戊亥遺跡 平安京跡 伏見城跡 大坂城跡 大坂城下町跡 長原遺跡 萱振遺跡 湊遺跡 明石城下町屋跡本町第一一次地点 雲晴寺近世墓群 坂元遺跡 英賀保駅周辺遺跡第三地点 山野里四ツ日遺跡 田村西瀬古遺跡 中屋遺跡 米町遺跡(第一〇地点) 由比ヶ浜南遺跡 高德院周辺遺跡 外神田四丁目遺跡 日本橋一丁目遺跡 日本橋二丁目遺跡 新宿六丁目遺跡 向柳原町遺跡 葛西城址 栗島遺跡 関津遺跡 樺崎寺跡 下古館遺跡 壇の越遺跡 柳之御所跡 毛越寺跡 向中野館遺跡 高島町尻遺跡 小田島城跡 鶴ヶ岡城跡(二の丸南辺地点) 横山遺跡 弘田柵跡 本堂城跡 高間(一)遺跡 十三湊遺跡 下堤・青草町遺跡 昭和町遺跡 木ノ新保遺跡 久昌寺遺跡 千木ヤシキダ遺跡 加茂遺跡(1) 加茂遺跡(2) 小出城跡 春日山城跡 米子城跡 御所遺跡 沈没船(推定いろは丸) 埋没地点遺跡 安芸国分寺跡 萩城跡(外堀地区) 二刀遺跡 観音寺遺跡 徳島惣構跡 高松城跡(既跡) 大宰府跡 観世音寺 延岡城跡

一九七七年以前出土の木簡(二八)

胡桃館遺跡

釈文の訂正と追加(九)

伏見城跡(第八号) 脇本城跡(第二七号) 辻井遺跡(第五・八号)

中原遺跡(第二二・二四号)

出土木簡論

井上和人

七世紀の荷札木簡と税制

森 公章

頒価 五〇〇〇円 送料六〇〇円